

どこに避難する？



※自宅建物が火災や倒壊の危険がないときは、あえて避難の必要はありません。

いっとき避難場所

大地震が発生したら、地域防災拠点に避難する前に、近くの学校、公園、広場など安全な場所に避難します。

広域避難場所

地震による火災が多発し延焼拡大した場合、熱や煙から生命・身体を守るため一時的に避難する場所です。
(大きな公園やグラウンド等)



地域防災拠点(避難所)

家屋の倒壊などにより自宅に戻れない場合に避難生活を送る場所です。
(あらかじめ指定された市立の小・中学校等)

避難するときのチェックポイント

- ① 「グラツ」ときたら、まず身の安全を確保しましょう。
- ② 身の安全が確保できたら、火の始末をしましょう。
- ③ 室内のガラスの破片に気をつけましょう。
- ④ あわてて外に飛び出さないようにしましょう。
- ⑤ 窓や戸を開け、出口を確保しましょう。
- ⑥ 避難の前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーをOFFにしましょう。
- ⑦ とおり近所に声を掛け合い、子どもや高齢者、障がいのある方の手助けをしましょう。
- ⑧ 車での避難は、緊急車両通行の妨げになるのでやめましょう。
- ⑨ 門や塀、がけには近寄らないようにしましょう。
- ⑩ デマに惑わされることなく、テレビ・ラジオで正しい情報を把握しましょう。



ふくし別所

No.57

別所地区社会福祉協議会会報
令和元年九月三〇日
発行人 阿部 勝彦
横浜市南区別所三ー一〇ー一

社会福祉

協議会とは



会長 阿部勝彦

地域の住民生活に必要とする組織として自治町内会と地区社協は、組織の両輪です。

行政（役所）―連合町内会長連絡協議会、連合町内会、各町内会の縦割りに対し、地区社協、区社協、市社協―全国社協の末端組織として福祉を中心に地域全体に貢献しています。

地区社協の組織は、会長は町内会長より選出され、他の町内会長が理事、民生児童委員、老人会、婦人会、その他の組織の連合代表が評議員となります。また、小中学校の校長先生、施設等地域で活躍している役員で構成されています。

○活動方針の内容

- ・ 組織の充実
- ・ 会報の発行
- ・ 連合町内会との連携

- ・ 敬老食事会とお楽しみ会
- ・ 子育て支援
- ・ ボランティア活動（スマイルサポート別所）
- ・ 別所小歴史授業
- ・ 区社協、行政、施設、学校との連携



校長 市之瀬雅夫

まっすぐ成長 出来る学校で ありたい

四月より、校長として着任しました市之瀬雅夫と申します。

今の中学生は、激動の社会を迎え、さまざまな葛藤を超えて生きていかなければなりません。地域の方、PTA、教職員、多くの皆さまに見守られ、時が経とうと変わることはない、人の温かい良心の中でまっすぐ成長出来る学校でありたいと考えています。皆さまのご支援よろしくお願いいたします。



別所小学校
校長 出口栄生

やがて活躍する 大人となるように

四月に着任しました。現在、四九四人の児童が元気一杯に学校生活をしています。

六月は、一大イベント、スポーツフェスティバル（運動会）で、児童の活躍する生き生きとした姿を感じとられた方も多かった

夏だ！

祭りだ！



南が丘中学校吹奏楽部



盆踊り

八月十七日（土）南が丘中学校にて別所連合町内会盆踊り大会を開催しました。第一部は、南が丘中学校吹奏楽部による演奏があり、喝采をあげました。第二部は、別所連合会平戸会長、南区松山区長よりご挨拶をいただきました盆踊り大会が始まりました。各町内会、関係部門等の模擬店出品と各町内会自慢の踊り手さんや子ども達の踊りで会場が盛り上がり、盛大な盆踊り大会を無事終了することができました。関係部門のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

のではないのでしょうか。登下校の見守りはじめ、地域や保護者の方々の温かいご支援をいただいております。このご支援は、児童の健全な育成にとって大切な原動力でもあり、この長年のご支援が子ども達の成長の成果の一つとしてスポーツフェスティバルに現れたものと考えます。別所の地で学ぶ子ども達がやがて社会で活躍する大人となるよう地域・保護者の方とともに一緒に頑張って尽力したいと思います。

これから学校経営にご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

●「ホッとする故郷」
スローガンに！

令和元年五月一日、別所コミュニティハウスで別所地区社会福祉協議会総会が開催されました。阿部会長挨拶の後、平成三〇年度活動および決算報告がありました。平戸監事の監査報告の後、報告どおり承認されました。第二部は、平成三〇年度地区別計画推進期末振り返り会議を実施しました。

スローガン「微笑みがたえない ホッとする故郷」のもと、重点取り組み項目について担当者から報告があり、活発な意見が交わされました。いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために皆さまのご支援、ご協力をよろしく願います。



別所地区社会福祉協議会総会

●松山区長から
「別所の取り組み評価」



別所地区懇談会



南区松山区長

六月二二日（金）別所コミュニティハウスで地区懇談会が開催されました。平戸連合会長挨拶に続き三丁目東、西、四丁目、町友会の四町内から町内会の運営や活動方針等具体的な取り組みの発表があり、特に防災の取り組みの推進を力強く感じました。

南区松山区長から「別所地域の素晴らしい取り組みや地域の住みやすい安全な街づくりを継続されることを望みます」との講評がありました。

●別所の一人に委嘱
健康づくりに向けて

市保健活動推進員は、前身の「横浜市衛生奉仕員制度」が昭和二三年に発足されて昨年七〇周年を迎え、記念式典を終えました。

保健活動推進員は、自治町内会の推薦で、市長が委嘱します。去る五月一九日南区公会堂で委嘱式があり、南区松山区長より「地域の健康推進役、行政の健康施策のパートナーとして地域において健康づくりの推進をお願いしたい」とのお話がありました。

また、各地域の代表者に横浜市保健活動推進員の委嘱状の伝達があり、南区保健推進員（総勢二九五五人）が委嘱を受け、地域の健康づくりに取り組みます。



南区保健活動推進員委嘱式

●盛り上がった
ギターで合唱



第1回敬老食事会



堀切事務局次長
ギター伴奏

六月一五日（土）別所コミュニティハウスで第一回敬老食事会が開かれました。

別所第一、中央、二丁目、三丁目東、西町内会六〇人の皆さんが民生委員手づくりのデザートとお弁当を美味しくいただきました。

今年の出し物は、堀切（事務局次長）さんのギター伴奏で歌謡曲などを楽しく歌いました。恒例のビンゴゲームも行われ、参加者全員に賞品が行きわたり楽しい一日でした。

●楽しく笑って介護予防

1.3モクモク会

(田島多恵子・

後藤江美子・酒井廣子)

仲間と楽しく介護予防に取組む「モクモク会」が毎月第一・第三木曜日の午前10時から一時30分まで別所町友会館で開催されています。参加費一〇〇円。皆で楽しく体操や脳トレ(コグニサイズ・スリーA・ゲーム)等の活動を継続し、笑い声が途絶えることのない高齢者の居場所になっています。

四月四日(木)初めての体験で別所第一公園から近郊を回る2キロメートルコースでノルディックウォーキングを楽しむことが出来ました。当日は、天候も良く別所第一公園、別所小学校の桜が満開で楽しい一日を過ごしました。



ウォーキング風景

●「腰が抜けそう」

防災訓練で



地震体験

六月一六日(日)町友会防災部の訓練を実施しました。

安否確認訓練では、いっとき避難場所に各グループごとに集合、安否確認カードの集計、災害対策本部とトランシーバーで連絡する訓練も実施しました。

その後、別所第五公園に集合し大岡消防署の起震車により、関東大震災規模を体験しました。震度七で一八秒間の揺れを体験し、子ども達は「楽しい!」大人は「腰が抜けそう!」の声がありました。日頃の準備と意識を変えることが大事だと学んだようです。終了後は、バーベキューを楽しみました。

●そば打ちに大満足

いきいき会(別所中里会)



そば打ち大会



そば打ち大満足

六月二三日(日)そば打ち大会が開催され、雨の中三〇人が参加しました。

そば打ちは、大きく分けて水回し↓延ばし↓切り↓ゆでの工程があり、「水回しが一番重要で、蕎麦粉と小麦粉の量を計りに掛け、こね鉢でかくはんするのが大事です」と高松町内会長に指導いただき、楽しくそば打ちが出来ました。天ぷらの盛り合わせも出来上がり、皆で美味しくいただきました大満足でした。

◎分りやすい広報誌目指して

「ふくし別所」第一回編集会議は、新メンバーにより開かれました。会長より各委員に地域の行事、お住まいの皆さまの「ふくし別所」掲載情報を集め、新たな広報誌発行に協力要請がありました。各委員も村上アドバイザーに指導いただき分りやすい広報誌を目指します。



編集会議

編集委員

中村 雅一 (副会長)

工藤 二郎 (事務局長)

堀切 勝信 (事務局次長)

後藤江美子 (会計担当)

山田はな江 (評議委員)

村上清一郎 (アドバイザー)

監修

相馬 誠司

渡辺佳世子